

第7回 市長と話そうの様子

開催日時	令和7年7月3日(木) 19:00 ~ 20:30	場所	臼杵市社会福祉センター 大ホール
団体名	臼杵市手話サークルせきぶつ		
団体概要	結成：昭和53年 目的：会員の手話技術の向上につとめ、聴覚障がい者との交流を図ることで理解を深める。 活動：1 手話の学習 2 ろう者※との交流、ろう者を知る 3 手話通訳等奉仕活動 ※ろう者：手話を日常的にコミュニケーションの手段として用い、又は用いようとする聴覚に障がいのある者		
話し合いのテーマ	①手話の普及について ②ろう者を知って欲しい、理解を深めて欲しい		
参加者	16名(団体メンバー15名、西岡市長)		

対話の様子

対話では、『手話の普及について』、『ろう者を知って欲しい、理解を深めて欲しい』をテーマに手話も交えながら活発な意見交換が行われました。

参加者からは、以下のようなお話やご意見がありました。

- ・本サークルでは、例会を月に2回開催し、そこで手話講習会を実施している。臼杵市は、令和5年3月に「臼杵市手話言語条例」を制定し、手話の普及を推進している。サークルとしても市と連携し、今後も手話の普及に努めていきたいと考えている。
- ・保育所やこども園などで手話を学んでいただきたい。手話を学ぶことで、ろう者への理解が深まり、こどもを通じて保護者にも手話の知識や、ろう者への理解が広がっていくと考えている。
- ・こどもの頃から手話を学んでいれば、ある日突然、聴力を失っても、コミュニケーションの面で慌てずに済む。特に高齢者は加齢や病気などで突発に聴力を失うことがあるため、早めに手話を身につけておくに役に立つと思う。
- ・手話を広めることは、聴覚障がい者だけでなく、障がいのある方全体に対する市民の理解や普及啓発につながると思っている。
- ・若い人はスマホの文字起こし機能を使ってコミュニケーションをとっている。スマホが不慣れな高齢の方などは手話が必要。
- ・医療の現場や成年後見人などで手話ができる人がいると良いと思う。
- ・昔はろう者を対象にした運動会があった。また、そんな機会があれば良いと思う。

市長からは、以下のような話がありました。

- ・手話サークルせきぶつの皆さんの活動をもっと多くの方に知っていただきたい。本日は、手話の必要性や、ろう者の方がどんなことで困っているかなど気づきをいただいた。皆さんにとって、より暮らしやすいまちになるよう頑張っていきたいと考えている。

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。“市長と話そう”では、市民の皆様の声を聴き、一緒に考え、よりよい臼杵市の未来を描くため、今後もさまざまな団体と対話を行っていきます！

